



馬場 聡

グループMG 代表
(大阪出身)

1965卒

「貴方は、大学で何を学びましたか？」と問われたら、私は迷わず「学問ではなく、人を学んだ」と答えます。友人は勿論ですが、特にゼミの恩師との出会いは、その後の人生哲学を根本から大きく変えました。

私は現在63歳…。経営コンサルタントとして寸暇を借しんで全国を飛び回っていますが、この溢れんばかりの情熱も、もとは大学における恩師の教えに負うところが極めて大です。

縁あって過ごす4年間、この高経大で何を学ぶかを自覚して過ごすか否かは、大きな差となってくるでしょう。皆さんもそんな学生時代を過ごされるよう祈ります。

「偶然は必然の交叉である」

学生時代、良き師、良き友に出会うかどうか、その人の一生を決めるといっても過言ではない。今は亡き私の恩師・難波田春夫教授は「偶然は必然の交叉である」と説いた。そしてこれが私の座右の銘でもある。要するに「出会いは偶然ではなく必然的なものである。ただし、うちに求める心が無ければ、その人が眼前に現れても縁に至らない。」ということである。学生時代は原理原則を学び、自分自身を磨く最大の機会である。熱い志を抱いて努力した暁には素晴らしい出会いが約束される。健闘を祈る。

大谷 武彦

株式会社クレオ 代表取締役会長
(愛知出身)



1965卒

M E S S A G E

卒業生からの メッセージ ②



1997卒

加藤 有宏

テレビ愛知 (三重出身)

大学時代を振り返って

卒業後7年以上経った今、私が、大学時代に最も優先してすべきだったと思うことは、「何か」一つの事を4年間かけてやり遂げようと挑戦する事だと思う。その「何か」は自分で決め、飛び込んで行くしかない。例えば、運動部で勝利を目指し心と体を鍛える。会計士などの資格に挑戦する。バックパッカーとして世界中を放浪し、世界経済を肌で感じるなど。

大学時代は大いに楽しむべきだ。それと同じぐらいその「何か」に精一杯取り組もう。卒業後の何十年の人生を、大きな自信を持って歩める気がする。

2006年度版『Intoro』掲載原稿を募集いたします OB・OGからの「エール原稿」大募集!!

卒業後、社会人となり外から母校高崎経済大学を眺めるとき、あとに続く後輩たちに言っておきたい一言が必ずあるはず。学生時代にコレをすべきだ、大学時代のアレが役に立った、大学生の今だからこそ……等々、なんでも構いません。

愛情のこもった投稿を心よりお待ちしております。

投稿方法

- 原稿は手書き、ワープロを問いません。
- 字数は2000字程度以内であれば短くても結構です。
- 現住所、氏名、卒業年次、現職、昼間の連絡先(電話、メールアドレス等)を書いて下記まで送り下さい。

送り先

〒370-0801 高崎市上並榎町1300
高崎経済大学経済学会「エール原稿」係
TEL 027-344-6244 / FAX 027-344-5857
E-mail: k-gakkai@tcue.ac.jp